



センターだより 5月号



春とはいえ寒暖の差も激しく、体調を崩しやすい気候になっています。新年度の緊張やストレスが溜まる時期とも重なっています。親子共にゆったりと過ごす、睡眠や食事をしっかりとる等、体調管理をしっかりとしていきましょう。

少しずつ新しい環境に慣れるように、「のんき、根気、元気、そして楽しく」、過ごせるように、心掛けていきましょう。

5月は、「学校訪問」と「学校連絡会」等の「修了児支援」や、「就学についての学習会」等の「就学支援」を行なっていきます。

「こうした事について、連携してほしい」「〇〇について、伝えてほしい」等のご希望があれば、教えて下さい。また連携の内容については、後日お知らせしますので、よろしくお願いいたします。



～ 5月の主な行事予定 ～

8日(水)	親子遊び (10時00分～)	22日(水)	親子遊び
15日(水)	放課後等デイサービス 学習会	29日(水)	放課後等デイサービス

学習会のお知らせ(就学について)

5月15日(水) 10時～11時30分

子どもの発達に適した学校を選択していけるよう、みんなで一緒に勉強しましょう。

講師 教育委員会学校教育課 市川先生
瑞浪小学校教頭 土屋先生

主な内容：学校生活について。
特別支援教育について。
就学までの取り組みについて。

<交流会>

学習会終了後にお母さん達との交流会を行います。就学についての不安や心配等、気軽に話し合しましょう。

一年生のお母さんの体験談も聞けます。関心のある方は、是非参加してください。(年長児以外の保護者の参加も可能です)

※お弁当をとります。(詳細は親の会たよりを見て下さい。)

※食事をしながら、ゆっくりと話しましょう。

～ 学校訪問・連絡会 ～

3月に修了した子ども達を中心に、学校生活移行支援を行います。

<授業見学>

一年生の学習の様子を参観し、就学後の様子を把握します。

<情報連絡会>

センターにて、小学校担任の先生と子どもの支援方法等について、情報交換します。

～ 保護者・学校訪問～

就学先の検討や決定をするにあたり、学校訪問や授業見学等の希望を取ります。

希望される方は、「学校見学・訪問」の書類に、必要事項を記入後、提出してください。

※5月20日頃までに、提出してください。

※詳細な日程は後日、お知らせします。

～ 命を守る訓練 ～

5月24日(金):14時～15時

対象児：金曜日の午後からの個別指導グループ。

日程：13:30～の指導・・・個別支援と避難訓練

(13時30分集合)

15:00～の指導・・・避難訓練とグループ遊び

(14時集合)

～ 親子お楽しみ会 ～

「風船太郎のバルーンショー」

6月5日(水) 13時30分～14時30分

昨年大好評だった風船太郎さんが来ます。

小さい子から大人までみんなで、楽しみましょう。



～ 4月のセンター情報 ～

～ 始業式・親の会総会 ～

久しぶりのセンターという事で、「いっぱい、遊びたい」と意気揚揚と、センターに来た子ども達。何故か「エスカレーター式」に2階プレールームに移動。

「今度こそ、トランポリンで遊ぶ・・・」「すべり台ができる」と期待していた子どもも多かったと思います。

しかしその日は始業式・・・「始業式会場」となったプレールームに入り、始めは「???’の状態。

そして何も遊具はないけど、「まあいいか」「とりあえず走り回っておこう」と、跳びはね、走り回った後は、お母さんと一緒に上手に着席し、落ち着く事ができました。

始業式開始 10 分間、とても落ち着いて静かに式に参加する事ができました。

そして「10 分間の静寂、集中」の後、寝転んだり、コチョコチョとおしゃべりをして過ごしていた子ども達。「みんなの中心にいたいから、少し我慢しよう」「でも少し動いてみたいな」といった子ども達の思いが伝わって来るようでした。

ザワザワとした雰囲気にはなりましたが、場面適応しようと頑張っていた子ども達、お疲れさまでした。<(_)_>

～ 親の会とは ～

「保護者同士の仲間作り」を目指し、「親の会」は活動しています。

親の会総会資料の中に記載されている「親の会とは・・・」には、「仲間作りの大切さ」等の気持ちが込められていますので、一部紹介します。

*正式名称は、「瑞浪市子ども発達支援センターぽけっと親の会」です。

*「ぽけっと」の名前には、お母さんのエプロンのぽけっとにいるような安心感をもってほしい、暖かく包みこむようにして育てたいという思いがあります。

*同じような悩みをもつ親同士が語り合える集まりが「親の会」です。

*「子育てが充実するように」と、研修会で勉強したり、各種行事ができるようにしています。

みなさんの参加、待ってます (*^_^*)

< 運動遊びについて >

花粉症も、そろそろおさまり、いよいよ外遊びや運動遊びが楽しめる季節になってきました。

体を使って遊ぶ事、色々な感覚刺激を楽しむといった「感覚・運動遊び」をする事は、子ども達にとっては、「ストレス発散」の活動になっているようです。

そして思いっきり体を動かして遊ぶ事を通して、気持ちがスッキリし、「情緒の安定」につながっています。

また、散歩や公園での遊具遊び等の運動遊びは、生活リズムを整える為に有効というだけでなく、「親子のコミュニケーション」「大人が子どもをリードする」といった行動調整や、将来的には「学習・就労意欲の育ち」につながっていきます。

センターや家で、伸び伸びと遊ぶ体験をたくさんできると良いですね。 (^o^)/

1. 運動する力が育つと・・・

☆散歩と一緒に、手をつないで歩くという体験をすると、「一緒に行動する」という協調性が育ちます。

※「すぐに手を振り払ってしまう」といった場合は、子どもが好きな遊具まで、少しの距離だけでも手をつないでみましょう。「手をつなぐと良い事がある。」という認識が育ちます。

☆トレーニング的に体を動かすのではなく、主体的に体を動かして遊ぶ事に喜びを感じる事で、「自分で頑張ってみよう」といった学習意欲や自発性が育ちます。

☆イメージ通りに体を動かす事ができるようになると、「経験を通して学ぶ」という姿勢が育ちます。



◎幼児期にたくさん体を使って遊んだ子どもは、何かに取り組む意欲が育ち、色々な課題に挑戦したり、達成する為にがんばるようになります。

2. 共感する気持ちを育てましょう。

☆親子と一緒に、体を使って遊ぶ経験から、親子関係を深め、一緒に楽しむ等の共感性が育ちます。

☆大人は、自分を助けてくれる人、一緒にいると楽しめる人という気持ちが大人への信頼感になります。

☆こうした共感性や信頼感が、コミュニケーション意欲、ことばの発達に結びついていきます。



◎大人との信頼関係がしっかりと形成される事で、「一緒にやろう」といった協調性が育ちます。

◎叱られる事と誉められる事を通して、「やって良い事・いけない事」の判断力が育ちます。

